

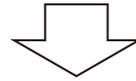
社会人とは

○社会人とは…



学校や家庭などの保護から離れ
自立している人を指す

学校を卒業して就職すると
周囲からは「社会人」として見られる



社会人としての必要なスキルや
行動が求められるということ

💡 ポイント

- ・ 社会人とは社会的に自立している人のこと
- ・ 仕事をするということ = 社会人になるということ
- ・ 社会人には求められることがあるということ

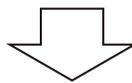
(ワーク) 社会人に求められることにはこういった
ものがあるか思いつく限り書いてみよう

個別にワークを行った後に、グループごとに分かれ、
司会・記入者を決めてもらい
グループごとに意見をまとめていく。グループワー
クの中で他者の意見を聞き入れ
て変更してもかまわないことを伝え、ワークに取り
組ませる。

○自立とは…様々な定義が挙げられる



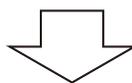
- ・ 他者の援助を受けないで、自分の力で身を立てること
- ・ 仕事をしながら自分で生計を立てている状態こと
- ・ すべての物事を自分で判断し自分で決断し実行できる状態のこと
- ・ 自分がやりたいことを実現できる手段を持っていること など



自分で自分のことができること = 自立

○自立には様々な形がある

- ・ 職業的自立について
→ 職業に就いて働きながら、自分の生計を立てること
仕事をすることによって達成される自立
- ・ 社会的自立について
→ 自分の意思決定を自分で行い、実行できること
自分のことを自分で決定することで達成される自立



この二つを両立できることが社会に求められる自立

💡 ポイント

今求められることは

社会人として社会に参加する意味をしっかりと理解し、
社会人として自立できることを目指し取り組むこと。

(ワーク) 社会人として自立するために必要なことは何
あげられるだろうか。職業的自立、社会的自立
それぞれに思いつく限り書いてみよう。

- ・ 職業的自立…職業に就いて働きながら、自分の生計を立てること。仕事をするこ
とによって達成される自立

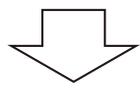
生計を立てるための具体的な金額の検討、キャリア
プランの設定、職業の詳細把握など

- ・ 社会的自立…自分の意思決定を自分で行い、実行で
きるこ
と。自分のことを自分で決定す
ること
で達成される自立

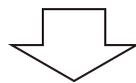
自分に足りないものの把握（自己理解）、周囲への
協力体制の構築、実行するための課題の把握など

○学生と社会人との違いとは

大きな違いは以下の通り



- 学生の本業は学業、社会人の本業は仕事
- 学生は成績で評価され、社会人は結果で評価される
- 学生は自分の努力で、
社会人は周囲との協力で目的を達成する
- 学生での人間関係は同年代中心
社会人はより幅広い関係性が必要
- 学生がお金を支払って教育を受け取り
社会人はお金を受け取って労働力を支払う
- 学生生活は長くても18年ほど
社会人はその3倍以上の期間がある



学生と社会人には大きな違いがあり
同じような過ごし方や意識ではいけない

その意識を持つことも社会人として求められること

💡 ポイント

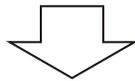
- 学生気分のまま社会に出ることはとても危険
- 社会人として求められることが何かを理解すること
- 学生時代に学んだことを生かしながら、
社会人として新しく学ぶ必要があることを理解する
- 社会人としての期間が非常に長く、学ぶべきことが多いということ

○社会人になると責任が課せられる



- ・ 仕事をするということは責任を負うということ
- ・ 自分の行動や言動には常に責任が発生する
- ・ 自分のしてしまったことは自分で責任を取らなければならない

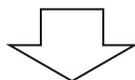
社会人として自分の行動に責任を持たなければならない



誰もが責任から解放されたいと望むことではあるが…
社会人として自立するためには絶対に乗り越えるべきもの

💡 ポイント

- 責任を果たすために重要なことは
 - ・ 自分にできることできないことを理解すること
 - ・ できないことを「できます」と言わないこと
 - ・ できないことがあるならばすぐに相談すること
 - ・ 自分の行動や言動に常に気を配ること
 - ・ ミスをしたら逃げずにきちんと謝ること



責任を背負うということは辛く怖いこと
しかし、決して一人で背負う必要はない

人に頼らないことが自立ではない
社会人として協力しながら責任を果たすこと
これこそ社会人として求められること

(ワーク) 社会人と学生の違い、責任について学んだが、
以下の問いについて考えてみよう

- ・ 社会人として自立するために自分がこれから行うべきことはなんだろう。

【ヒント】 自立するために、自分に足りないものを考えてみよう

- ・ 自分の行動に責任をもつために心がけることとはなんだろう。

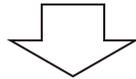
【ヒント】 自分の行動を見つめなおすために行うことを考えてみよう

個別にワークを行った後に、グループごとに分かれ、
司会・記入者を決めてもらい
グループごとに意見をまとめていく。グループワー
クの中で他者の意見を聞き入れ
て変更してもかまわないことを伝え、ワークに取り
組ませる。

○新社会人が求められるもの

若者の考える新社会人が求められるもの

- ・ 即戦力（技術や知識を持っている）
- ・ 早く仕事を覚えてこなす能力
- ・ わからないことを自分で調べる能力
- ・ 多くの資格や知識を習得していること



実際に企業や社会が新社会人に求めているもの

- ・ コミュニケーション能力が最低限身についていること
- ・ 最低限のビジネスマナーを習得していること
- ・ あいさつや言葉遣いができていること
- ・ 自分のやるべきことや立場を理解していること
- ・ わからないことを上司に相談できること

💡 ポイント

若者の認識と、社会の求める認識のズレ

- ・ 技術や知識よりも最低限のビジネスマナーやコミュニケーション能力を重視していること
- ・ わからないことがある場合自分で解決するのではなく上司や先輩に相談して欲しいと考えていること
- ・ 入社してすぐに即戦力になってほしいと考えている企業や職種は一部であるということ

<社会人の先輩のコトバ>

「技術や知識は職場で教えられるが、ビジネスマナーやコミュニケーションは教えられない」

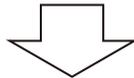
「自分で何とか解決する力は将来的に必要なだが、新人の今は他に覚えるべきことがたくさんある」

「仕事ができるためには時間がかかって当たり前」

「5年、10年かかってようやく一人前」

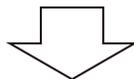
○新社会人が失敗しがちなこと

- ・あいさつができない
- ・敬語での失敗
- ・報告連絡相談（ほうれんそう）ができない
- ・時間が上手に使えない
- ・常識やマナーでの失敗



社会人としての自覚が欠けると失敗を引き起こす

- ・あいさつや敬語、ほうれんそうなどが大事なことだと理解していても、失敗をしてしまうことが多い。



- ・これらをきちんと学ぶ機会が少なければ身につかない
- ・新社会人になってから学ぶ機会はあるが、それまでに身につけておくことで失敗が減る。
- ・これらは自分自身で意識しなければ身につかない。

💡 ポイント

社会人になるまでにどれだけ身につけておくかがカギ

- ・社会のルールを守ること
社会人として社会に参加する自覚をもつこと
- ・助言を聞くこと
社会人の先輩方からの助言を聞く機会を持つこと
- ・自分をよく知ること
自分になにが足りないのか自己理解をしよう
- ・なるべく早く取り組むこと
「いつか」ではなく今すぐ取り組むこと

学生のうちにしか取り組むことができないことがある

(ワーク) 自分が社会人として社会に出るときに不安なことはなんだろう。思いつく限り書いてみよう。

・ 社会に出るときに不安なことを書いてみよう。

【ヒント】 自分に足りないものや苦手なものを考えてみよう

・ 上の不安を解消するために取り組むべきことを考えてみよう

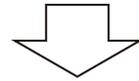
【ヒント】 今すぐ取り組めることを中心に考えてみよう

個別にワークを行った後に、グループごとに分かれ、司会・記入者を決めてもらいグループごとに意見をまとめていく。グループワークの中で他者の意見を聞き入れて変更してもかまわないことを伝え、ワークに取り組ませる。

ビジネスマナーについて

○ビジネスマナーとは…

誰とでも気持ちよく
仕事を進めるための礼儀作法



社会に出れば、いかなる場所でも
誰であろうと、何歳であろうと、
必ず求められる必須のスキルである

💡 ポイント

- ・ 相手への思いやりが大切
思いやりを持つと自然とマナーが身につく
- ・ 相手に不快な思いをさせない
常に自分の行動を見つめなおすことが大切
- ・ 不快にさせたら素直に謝ること
失敗は誰にでもある、その後の謝罪が大事

意識をすれば必ずビジネスマナーは身に付く！！

逆を言えば意識をしなければいつまでも身につかない！！

(ワーク) ビジネスマナーにはどのようなものがあるか
思いつく限り書いてみよう

個別にワークを行った後に、グループごとに分かれ、
司会・記入者を決めてもらい
グループごとに意見をまとめていく。グループワー
クの中で他者の意見を聞き入れ
て変更してもかまわないことを伝え、ワークに取り
組ませる。

○あいさつ

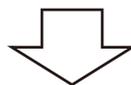
あいさつから始まりあいさつに終わる。
ビジネスマナーの基本中の基本



💡 ポイント

- ・ あいさつとは心を開くこと
心を開くことで相手との人間関係が良好に
- ・ あいさつは自分から
常に自分の行動を見つめなおすことが大切
- ・ あいさつはすべての基本
コミュニケーションの基本である

挨拶ができないということは
他のビジネスマナーも守れない
と思われてしまうかも



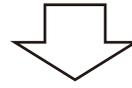
仕事もできないと思われてしまう

あいさつはすべての基本であり、コミュニケーションの
入り口でもある。社会人としてかならず身に着けるべきもの。
あいさつは毎日行う行為だからこそ、きちんと身に着けよう

(ワーク) あいさつの際に気を付けるべきことは、
ほかにもあるが、思いつく限り書いてみよう

相手に聞こえる音量、笑顔、どのような相手に対し
ても行う など

○言葉遣いについて あいさつ、ほうれんそう、電話応対など
言葉遣いはあらゆる仕事の基本



正しく身に着けることで、スムーズな
コミュニケーションを行うことができる

💡 **ポイント**

- ・目上の方との会話に必要な敬語を習得する
- ・相手の立場を考えた発言を心がける
- ・どんな職種でも必要であることを理解する

○敬語について 社会人として当然身に着けるべきもの

敬語には尊敬語、謙譲語、丁寧語がある

尊敬語…直接的に相手に敬意を表すことば

謙譲語…自分をへりくだらせ相手に敬意を表す

丁寧語…言葉遣いを丁寧にし敬意を示す

💡 **ポイント**

- ・使い分けが重要で場面に応じて使い分ける
- ・相手を敬う気持ちを持てば自然と身につくもの
- ・相手が目上かどうかは関係がなく、
どのような人にも敬意を表することが大事

言葉遣い・敬語は社会人としての基本。
相手を敬う心を持って相手に接することが。

(ワーク) これらの言葉を敬語に直してみましょう

	尊敬語	謙譲語	丁寧語
する	なさる、される	いたす、させていただく	します
言う	おっしゃる、言われる	申す、申し上げる	言います
来る	いらっしゃる、お越しになる、見える	参る、伺う	来ます
行く	いらっしゃる、おいでになる	うかがう、参る	行きます
食べる	召し上がる、おあがりになる	いただく、頂戴する	食べます
見る	ご覧になる	拝見する	見ます
聞く	お聞きになる	拝聴する、うかがう	聞きます
座る	おかけになる	座らせていただく	座ります
会う	お会いになる、会われる	お目にかかる	合います
伝える	お伝えになる	申し伝える	伝えます
わかる	おわかりになる、ご理解いただく	かしこまる、招致する	わかりました
読む	お読みになる	拝読する	読みます
思う	お思いになる、おぼしめす	存じる、拝察する	思います
考える	お考えになる、ご高察なさる	拝察する、検討いたします	考えます
持つ	お持ちになる、お持ちくださる	お持ちする	持ちます
買う	お買いになる、お求めになる	買わせていただく	買います
持つ	お持ちになる、お持ちくださる	お持ちする	持ちます
帰る	おかえりになる、帰られる	おいとまする	帰ります
知る	お知りになる	存じる、存じ上げる、招致する	知っています
与える	くださる、お与えになる	差し上げる	あげます、あたえます

○身だしなみについて



衣服や頭髪を整え、言葉遣いや態度を
社会人としてふさわしく振舞うこと

オシャレとは違うものであり
TPOに応じたものを求められる
TPOとは
「TIME PLACE OCCATION」
の略語で「時、場所、場合」を指す。

💡 ポイント

- ・相手に不快感を与えないものか
 - ・状況に合っているかどうか
- 以上の点を抑えておく必要がある。

身だしなみのチェックポイント

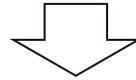
- 髪の毛：職種によって許される範囲が異なる
極力黒で男性は短髪がふさわしく、女性はお辞儀などして崩れない髪型が望まれる
- ひげ：剃り残しの内容にきちんと整える
- 口：エチケットとして口臭に注意すること
きちんと歯磨きを徹底する
- 化粧：ナチュラルメイクが基本
オシャレとの混同に注意すること
- 指先：爪が伸びすぎると清潔感が損なわれる
こまめなケアが重要
- 服装：衣服はしわや汚れが無いようにする
靴はつねに磨かれたきれいな靴を履く
ヒールは高すぎるものは望ましくない
装飾品は職によって変わるが、
個性的なデザインのを避けること

大勢の人と仕事をしていく上で、マナーを守って
こそ一人前の社会人として認められる。

○職場でのマナーについて



職場で周囲に不快感を与えないことが重要
仕事中の態度から自分の評価が決まる



上司だけではなく同僚や部下に対しても
誰に対しても配慮が必要である。

💡 ポイント

- 職場でのNGな行動をしない
頬杖をつく、あくび、腕や足を組む、貧乏ゆすり
返事が小さい、呼ばれても別のことを優先するなど
- 仕事とプライベートを分けること
業務中に私的な電話をする、公私混同する、
会社のパソコンを指摘に利用する など
- 仕事で知りえた情報の取り扱いに注意する
機密情報や取引先の情報などは守秘義務があるため
家族や友人に話すことやSNSで発信することは
重大な犯罪行為となる
- 周囲の状況に配慮しなければならない
周囲の状況を常に把握し、自分勝手な判断や配慮を
欠いた行動をしないことに注意する
- 常に周囲からみられている意識を持つこと
社内や社会では自分が思う以上に周りに行動を見ら
れていることを理解し、自分の行動や言動には常に
気を配ること

気を配ることは多数あるが、どれも周りへの配慮
や意識をすることで、自然と身につくものである。

社会人としての自覚を持ち、常に行動や言動を意
識しよう

(ワーク) 下記の内容について思いつく限り書いてみよう。

・自分の身だしなみで直すべきところを書いてみよう

【ヒント】自分でわからない場合は周囲の人に聞いてみよう

・周囲の人に不快感を与えないために、自分が今日から取り組むことを考えてみよう

【ヒント】今すぐ取り組めることを中心に考えてみよう

個別にワークを行った後に、グループごとに分かれ、司会・記入者を決めてもらいグループごとに意見をまとめていく。グループワークの中で他者の意見を聞き入れて変更してもかまわないことを伝え、ワークに取り組ませる。

○ほうれんそう（報告・連絡・相談）について

ビジネスにおけるコミュニケーションの 基本中の基本である

<報告>

指示を受けた人が指示した人に対して状況について伝えること

- ・仕事を頼まれたら必ず報告をしなければならぬ→義務

報
告



<連絡>

情報を相手に知らせること
情報を周知すること

- ・連絡は事実のみを伝える
→自分の意見を含ませない

連
絡



<相談>

上司や先輩に意見を求めたり、
話し合いをすること

- ・わからないことは常に相談をするように心がける

相
談



💡 ポイント

- ・社内の意思疎通に極めて重要である
- ・社内や社会の一人ひとりが意識することで、トラブルを未然に防いだり、トラブルが起こった後も即座に対応できる。
- ・いずれも仕事をするうえで必要なことであり、ほうれんそうも仕事の内であることを意識する

○ほうれんそう（報告・連絡・相談）における注意点

- ・ 結論から伝えること
相手に伝える際に簡潔にまとめ、結論から伝えること
相手に話の要点が伝わりやすくする配慮が必要
- ・ 嘘や偽りを言わないこと
嘘や偽りが入ってしまうと、相手はその報連相を信じてしまい、改善や対応ができなくなってしまう
自分のミスであっても謝罪をした上でできちんと伝えることが重要
- ・ 仕事を受けたら必ず報告すること
小さなことでも、自己判断せず全てを報告すること
- ・ 連絡、相談は自発的に行うこと
連絡や相談は自ら行う行為であり、求められて行うものではないため、どのような小さなことでも行うことが重要

💡 ポイント

- ・ 報連相は実践することで身につくものである
- ・ どんな小さなことでも報連相を行う
- ・ 事実を伝えることでトラブルを未然に防ぐ

報連相はビジネスマナーの基本であり必須スキル。
自分から実践することで習得できるスキルであることを理解しよう



コミュニケーションについて

○コミュニケーションとは… 社会人の必須スキル



仕事は一人では完結せず、多くの人と協力をする必要があり、他人と協力する際や、仕事をお願いする際にもコミュニケーション能力を必要とする。

💡 ポイント

- ・ コミュニケーション能力向上には意識した訓練が必要
- ・ 習得することで相手への配慮や関係性の向上に役立つ
- ・ 前向きに取り組むことで必ず習得できるスキル
たとえ苦手であっても訓練することで必ず身につく

意識をすれば必ずコミュニケーション能力は身に付く！！
向上させようという意識が最も大切！！

(ワーク) コミュニケーション能力の向上に必要な訓練を思いつく限り書いてみよう。

個別にワークを行った後に、グループごとに分かれ、司会・記入者を決めてもらいグループごとに意見をまとめていく。グループワークの中で他者の意見を聞き入れて変更してもかまわないことを伝え、ワークに取り組ませる。

(グループワーク) コミュニケーション向上のための コンセンサスゲーム

【NASAゲーム】

あなた方は宇宙船に乗って月面に着陸しようとしている宇宙飛行士です。月面には母船が待っているのですが、機械の故障で母船から約200マイル（約320km）離れた所に不時着してしまいました。不時着時の衝撃で宇宙船はほとんど壊れ使用不能となりました。しかし、次の15アイテムは破損を免れて完全なまま残っていました。

「まずは、重要なアイテムを見極めよう」ある宇宙飛行士が言いました。「冷静に判断するため、まずは各自で考え、最後は全員で話し合おう。」母船に無事たどりつくため、15アイテムの中で必要なものから重要度の高い順に1番から15番までの順位をつけなさい。
(最も優先度が高いものが1となります)

☆みんなで話し合ってNASAの公式回答に近づけよう

太陽熱式FM送受信機		落下傘の絹布	
粉ミルク(1箱)		マッチの入った箱	
磁石コンパス		救急箱	
月から見た星座表		携帯用暖房機	
45口径ピストル(2丁)		ナイロンのロープ(15m)	
水(19リットル)		救命いかだ	
照明弾		宇宙食	
酸素ボンベ(45kg)			

メモ

(グループワーク) NASAゲーム NASA公式回答

品名	順位	理由
太陽熱式FM送受信機	5	母船と更新できる可能性
粉ミルク(1箱)	12	食料として
磁石コンパス	14	地場が弱く、地球と違う
月から見た星座表	3	方位確認に必要
45口径ピストル(2丁)	11	推進力として用いる
水(19リットル)	2	宇宙服内では発汗が多い
照明弾	10	信号として用いる
酸素ボンベ(45kg)	1	酸素の補給用
落下傘の絹布	8	運搬、日よけなどに使用
マッチの入った箱	15	酸素がないため使用不可能
救急箱	7	ケガの治療や栄養剤
携帯用暖房機	13	月は寒暖の差が大きい
ナイロンのロープ(15m)	6	負傷者を縛る、坂道悪路に有用
救命いかだ	9	運搬、日よけ、ガスを推進力に
宇宙食	4	数日分の食料となる

(グループワーク) GOOD&NEW

【やり方】

- ・ 話をする人は目印となるボールなどを持つ。話し終わったらボールを次の人に渡す。
- ・ ボールを渡された人は、24時間以内であった「いいこと」や「発見」について話す
- ・ 話す内容は30秒～1分程度にする
- ・ 話をしてくれた人に拍手をする
- ・ 時間になったらほかの人の話で印象に残った話を順番に発表する



(グループワーク) おとぎ話ツクール

【やり方】

- ・ 有名なおとぎ話の冒頭をスタートの人から話始める
「昔昔あるところにおじいさんとおばあさんがいました
おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは洗濯に…」
- ・ 30秒ほどで次にバトンタッチする
- ・ 二人目以降は自分が思いついた創作の物語を話す
- ・ 次々とストーリーが続くように創作の物語を繋げる
- ・ アンカーは「めでたし」になるように話をしめよう

(グループワーク) 答えをそろえましょう

【やり方】

- ・ 出題者がお題を出しましょう
例「最強の動物ランキング第5位といえば？」
「桃太郎のお供が4匹だったときの最後の1匹は？」
- ・ 回答者は一斉に答えを発言しかぶった人数分点数を得る
- ・ 出題者はかぶらなかった人数分点数を得る
- ・ これを繰り返し点数を多く取ったプレイヤーの勝ち

(様式第 16 / 委託事業の成果の標記)

委託事業の成果の標記

委託事業に係る成果報告書の「委託事業の成果の表記」については、次によるものとする。

< 成果副教材 >

本副教材は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、大阪技能専門学校が実施した令和 2 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

< その他のすべての成果物 >

本副教材は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、大阪技能専門学校が実施した令和 2 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果物です。

※成果物の見えやすい箇所に上記の文言を付記すること。

文部科学省委託事業
2020年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
学びのセーフティネット機能の充実強化
高等専修学校と外部とのネットワーク化の推進

様々な問題を抱える高等専修学校生が社会人として
定着するための地域ネットワークシステム構築

副教材

学校法人神須学園 大阪技能専門学校
令和3年3月

連絡先：〒596-0833 大阪府岸和田市神須屋町413
学校法人神須学園 大阪技能専門学校
TEL：072-427-7600 FAX：072-428-3300

●本書の内容を無断で転記、記載することは禁じます